

(臨床研究に関する情報公開)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加しているほかの方の個人情報や、研究の知的財産などはお答えできない内容もありますので、ご了承ください。

[研究課題名]

日本人成人における巣状分節性糸球体硬化症コロンビア分類を構成する各病変の臨床病的検証

[研究代表者]

城 謙輔 (東京慈恵会医科大学病理学講座)

[当院の研究責任者]

神農 陽子 (岡山医療センター臨床検査科病理)

[研究の背景]

巣状糸球体硬化症(FSGS)の組織分類は、コロンビア分類が国際的基準となっています。個々の病変に基づいて5つの亜型に分類されます。日本人成人におけるFSGSの治療や予後予測に関してコロンビア分類の意義や妥当性はまだ十分検討されておらず、個々の病変と臨床像の関連性を検討することは、分類の妥当性の検証につながる事が期待されます。

[研究の目的]

日本人成人における巣状糸球体硬化症(FSGS)コロンビア組織分類の亜型とその構成組織病変の臨床的意義を明らかにする。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2001年-2020年の間、研究参加施設で施行された腎生検約2000例のうち一次性巣状分節性糸球体硬化症と診断された成人症例約60症例を対象とする。

岡山医療センターからは11症例が対象となる。

●研究期間：

2021年9月30日より2026年9月30日までの予定です。

●収集する情報：

以下の情報をカルテより収集し、病理組織学的な各所見との関連について検討します。

非特異型硬化・硝子化、門部周囲型硬化・硝子化、管内増殖性病変、その他の糸球体病変(全節性硬化・硝子化、虚脱、癒着、糸球体毛細血管径腫大)、間質・血管病変(動脈硬化、間質の線維化・萎縮)

●検体や情報の管理：

慈恵医科大学病理学講座に収集、保管管理されます。

[研究組織]

東京慈恵会医科大学病理学講座、厚木市立病院、聖隷佐倉市民病院、岡山医療センター。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、慈恵医科大学病理学講座で匿名化され個人情報を削除して解析されます。また研究成果を発表する際にも個人を特定できないように行われます。個人情報は当院の研究責任者及び東京慈恵会医科大学病理学講座で厳重に管理されます。

[問い合わせ先]

当院研究責任者

研究関名：岡山医療センター臨床検査科 病理

担当者：臨床検査科長 神農陽子

電話番号：086-291-9911(代表)

研究関名： 東京慈恵会医科大学病理学講座

担当者：城 謙輔

電話番号（内線）：03-3433-1111 内線 2231